

2025年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 アトラグループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6029 URL <https://www.artra-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 久世 博之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 田中 克典 (TEL) 06-6533-7622
 定時株主総会開催予定日 2026年3月26日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2026年3月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期の連結業績 (2025年1月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	3,927	△7.3	140	—	148	—	258	—
2024年12月期	4,234	△5.9	5	△88.9	0	△98.4	△36	—

(注) 包括利益 2025年12月期 259百万円(—%) 2024年12月期 △29百万円(—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年12月期	25.16	—	16.5	3.6	3.6
2024年12月期	△3.59	—	△2.6	0.0	0.1

(参考) 持分法投資損益 2025年12月期 一百万円 2024年12月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期	4,127	1,695	41.1	165.10
2024年12月期	4,114	1,436	34.9	139.83

(参考) 自己資本 2025年12月期 1,694百万円 2024年12月期 1,435百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年12月期	275	36	△233	1,128
2024年12月期	200	△31	△259	1,049

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年12月期の連結業績予想 (2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,680	△10.8	△10	—	△15	—	△20	—	△1.95
通期	3,500	△10.9	80	△43.2	70	△52.9	60	△76.8	5.84

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期	10,287,000株	2024年12月期	10,287,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期	20,266株	2024年12月期	20,266株
③ 期中平均株式数	2025年12月期	10,266,734株	2024年12月期	10,223,127株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年12月期の個別業績 (2025年1月1日~2025年12月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	1,671	1.2	94	—	183	453.0	220	641.0
2024年12月期	1,652	△11.9	△28	—	33	△57.8	29	△65.1
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年12月期	21.45		—					
2024年12月期	2.91		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2025年12月期	3,198		1,548		48.4	150.73		
2024年12月期	3,099		1,327		42.8	129.17		

(参考) 自己資本 2025年12月期 1,547百万円 2024年12月期 1,326百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については添付資料3ページ「1 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループが属する鍼灸接骨院業界におきましては、療養費が減少傾向にあり、自費施術及び物販の拡大が課題となっております。

このような状況の下、当社グループは、既存事業の全体的な底上げを行うための商品・サービスの開発や、新たな顧客開拓の拡大に注力し、全事業の経営成績の向上に取り組みました。

また、鍼灸接骨院への経営支援プラットフォームとして立ち上がっているA-COMS（エーコムス）（注）事業を、成長の柱とする組織再編を行い、鍼灸接骨院の基幹システムであるA-COMSの拡張性を活かしたサービス内容の拡充を図り、業績向上と企業価値向上に取り組みました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高が3,927,223千円（前連結会計年度比7.3%減）、営業利益が140,812千円（前連結会計年度比2,377.6%増）、経常利益が148,543千円（前連結会計年度比14,935.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益が258,292千円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失36,736千円）となりました。

なお、当連結会計年度より、事業内容を適正に表示するため、従来「鍼灸接骨院支援事業」としていた報告セグメントの名称を「A-COMS事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響がありません。

（注）A-COMS（エーコムス）とは、Artra Cloud Operation Management Systemの略で、当社グループが開発した鍼灸接骨院の基幹システムをいいます。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

(A-COMS事業)

当セグメントの売上高は2,357,658千円（前連結会計年度比3.7%減）、セグメント利益は163,864千円（前連結会計年度比312.4%増）となりました。

支援内容別の概要は以下のとおりであります。

・ほねつぎチェーン

既存の鍼灸接骨院の加盟促進及び直営店の売上拡大等に注力しました。

この結果、売上高は522,741千円（前連結会計年度比8.3%増）となりました。

・機材、消耗品販売

療養費が減少傾向となる中、保険適用外の症状改善の自費施術や、予防に係る自費施術を拡大することで、療養費に過度に依存しない体制の構築が業界全体の課題となっております。当社グループは、営業活動とセミナーの開催をとおり、自費施術に使用する機材の拡販に注力しました。

この結果、売上高は627,392千円（前連結会計年度比5.4%減）となりました。

・アトラ請求サービス

新規開設院の入会及び他社システム利用院の乗換え契約の獲得に注力しました。当社グループが開発したA-COMSの拡張性を活用し、サービス内容の拡充を図りながら、実用性の向上と鍼灸接骨院の経営支援を行ってまいりました。

この結果、売上高は605,739千円（前連結会計年度比11.3%増）となりました。

・HONEY-STYLE

鍼灸接骨院のロコミ／予約システムであるHONEY-STYLEの利用院増加に注力しました。

この結果、売上高は99,066千円（前連結会計年度比29.0%増）となりました。

・介護支援

ほねつぎデイサービスの加盟店開発、既存加盟店のロイヤリティ収入の拡大及び直営店の売上拡大等に注力しました。

この結果、売上高は425,448千円（前連結会計年度比14.9%減）となりました。

・その他

売上高は77,270千円（前連結会計年度比57.6%減）となりました。

（玩具販売事業）

ペリカンにおいて、前期に引き続き不採算店舗の閉店を実施し、玩具販売の拡大に取り組みました。また、既存店の売上増加を図るべく、人気商品の確保と玩具・文具等の拡販に注力しました。

この結果、当セグメントの売上高は1,569,564千円（前連結会計年度比12.1%減）、セグメント損失は25,047千円（前連結会計年度はセグメント損失36,486千円）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ13,393千円増加し、4,127,654千円となりました。これは主に、商品が40,942千円減少したものの、現金及び預金が78,661千円及び売掛金が40,377千円増加したことによるものであります。

（負債）

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ246,021千円減少し、2,431,663千円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が65,548千円及び長期借入金が207,895千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ259,414千円増加し、1,695,991千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益を258,292千円計上したことによるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ78,661千円増加し、1,128,639千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な内訳は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、275,212千円の収入（前連結会計年度比37.0%増）となりました。主な内訳は、資金の増加要因として、税金等調整前当期純利益の計上241,218千円、減価償却費の計上105,409千円、資金の減少要因として、投資有価証券売却益の計上92,486千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、36,685千円の収入（前連結会計年度は31,160千円の支出）となりました。主な内訳は、資金の増加要因として、投資有価証券の売却による収入95,486千円、資金の減少要因として、有形固定資産の取得による支出40,575千円、無形固定資産の取得による支出37,607千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、233,236千円の支出（前連結会計年度比10.2%減）となりました。主な内訳は、資金の増加要因として、社債の発行による収入50,000千円、資金の減少要因として、長期借入金の返済による支出273,443千円であります。

（4）今後の見通し

2026年12月期につきましては、療養費が減少傾向にある中、引き続き自費施術及び物販の拡大が接骨院業界共通の課題になると想定されます。

このような環境の下、当社グループは、コア事業であるA-COMS事業を成長の柱と位置づけ、鍼灸接骨院の基幹システムであるA-COMSの拡張性を活用しながらサービス内容の拡充を図り、A-COMS事業を鍼灸接骨院への更なる経営支援プラットフォームへ進化させてまいります。

アトラ請求サービスでは、他社システムからの乗換契約の獲得に注力いたします。A-COMSへの乗換を行う事で、受付から検査、施術、決済までを網羅した院内管理機能、患者情報の分析にあたる顧客管理機能（CRM）、院内で使

用する衛生材料等の購入管理機能（EC機能）などが加わることとなり、鍼灸接骨院の経営支援に直結いたします。

HONEY-STYLE では、鍼灸接骨院での手技と専用機材による独自の施術を行い、近年の美容志向の高まり需要の受け皿となっており、今後、更なる美容施術や美容メニューの開発を行い、契約院数の増加に注力いたします。

加えて、A-COMSシステムと連携している最先端医療連携事業においては、連携先の医療機関数の拡大を目指します。鍼灸接骨院で完治根治できない傷病について、専門性の高い医療機関に患者を繋げることで、最先端の医療を提供いたします。医療機関での治療後には、継続的なりハビリや運動が必要となり、その役割を鍼灸接骨院が担うことで更なる健康を提供いたします。

機材消耗品販売においては、保険適用外の症状改善の自費施術や、予防に係る自費施術を拡大することを目的とした、自費施術に使用するA-COMSシステムと連動した神経を可視化するAI検査機器であるアトラゲージを中心とした当社オリジナル機材の販売に注力いたします。

また、玩具販売事業である株式会社ペリカンにおいては、前期から引き続き今期に関しても不採算店舗の閉店を実施し抜本的な構造改革の断行に努めてまいります。

これらのことから、2026年12月期の売上高は3,500,000千円（当連結会計年度比10.9%減）、営業利益は80,000千円（当連結会計年度比43.2%減）、経常利益は70,000千円（当連結会計年度比52.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は60,000千円（当連結会計年度比76.8%減）を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準による連結決算を実施しており、連結財務諸表の期間比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,049,977	1,128,639
売掛金	324,620	364,997
営業貸付金	390,498	414,255
商品	639,070	598,127
仕掛品	2,051	1,851
その他	328,556	278,779
貸倒引当金	△336	△564
流動資産合計	2,734,438	2,786,085
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	79,041	76,479
工具、器具及び備品（純額）	56,103	51,041
リース資産（純額）	6,030	10,798
その他（純額）	9,796	7,928
有形固定資産合計	150,971	146,247
無形固定資産		
ソフトウェア	114,862	110,813
その他	34,155	5,500
無形固定資産合計	149,017	116,313
投資その他の資産		
投資有価証券	696,650	689,716
長期貸付金	29,414	28,317
繰延税金資産	10,196	38,783
その他	395,973	373,673
貸倒引当金	△52,401	△51,483
投資その他の資産合計	1,079,833	1,079,007
固定資産合計	1,379,822	1,341,569
資産合計	4,114,261	4,127,654
負債の部		
流動負債		
買掛金	322,388	302,012
1年内償還予定の社債	—	10,000
1年内返済予定の長期借入金	273,443	207,895
未払金	107,459	82,805
未払法人税等	25,125	15,074
賞与引当金	18,540	19,080
ポイント引当金	7,123	6,773
収納代行預り金	562,672	608,569
預り金	42,116	42,677
その他	101,814	103,788
流動負債合計	1,460,684	1,398,676
固定負債		
社債	—	35,000
長期借入金	1,005,842	797,947
繰延税金負債	6,058	1,169
退職給付に係る負債	74,848	77,433
資産除去債務	117,869	106,725
その他	12,381	14,710
固定負債合計	1,217,000	1,032,986
負債合計	2,677,684	2,431,663

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	152,830	10,000
資本剰余金	1,583,840	1,726,670
利益剰余金	△309,527	△51,235
自己株式	△159	△159
株主資本合計	1,426,983	1,685,275
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,593	9,715
その他の包括利益累計額合計	8,593	9,715
新株予約権	1,000	1,000
純資産合計	1,436,577	1,695,991
負債純資産合計	4,114,261	4,127,654

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上高	4,234,433	3,927,223
売上原価	2,899,072	2,580,284
売上総利益	1,335,361	1,346,939
販売費及び一般管理費	1,329,678	1,206,126
営業利益	5,683	140,812
営業外収益		
受取利息	216	1,917
受取手数料	8,588	8,546
助成金収入	2,571	4,146
解約料収入	2,582	540
投資事業組合運用益	—	6,264
その他	3,380	2,596
営業外収益合計	17,338	24,011
営業外費用		
支払利息	13,719	13,920
投資事業組合運用損	7,956	—
その他	357	2,358
営業外費用合計	22,033	16,279
経常利益	987	148,543
特別利益		
固定資産売却益	1,143	1,738
投資有価証券売却益	—	92,486
事業譲渡益	5,291	—
特別利益合計	6,435	94,224
特別損失		
減損損失	26,631	—
固定資産除却損	0	1,550
解約違約金	2,014	—
特別損失合計	28,646	1,550
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△21,222	241,218
法人税、住民税及び事業税	20,422	17,080
法人税等調整額	△4,908	△34,153
法人税等合計	15,513	△17,073
当期純利益又は当期純損失(△)	△36,736	258,292
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△36,736	258,292

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△36,736	258,292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,070	1,122
その他の包括利益合計	7,070	1,122
包括利益	△29,666	259,414
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△29,666	259,414

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	142,930	1,573,940	△272,791	△159	1,443,919
当期変動額					
新株の発行	9,900	9,900			19,800
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△36,736		△36,736
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	9,900	9,900	△36,736	—	△16,936
当期末残高	152,830	1,583,840	△309,527	△159	1,426,983

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,523	1,523	1,680	1,447,123
当期変動額				
新株の発行				19,800
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)				△36,736
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	7,070	7,070	△680	6,390
当期変動額合計	7,070	7,070	△680	△10,546
当期末残高	8,593	8,593	1,000	1,436,577

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	152,830	1,583,840	△309,527	△159	1,426,983
当期変動額					
減資	△142,830	142,830			—
親会社株主に帰属する 当期純利益			258,292		258,292
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	△142,830	142,830	258,292	—	258,292
当期末残高	10,000	1,726,670	△51,235	△159	1,685,275

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	8,593	8,593	1,000	1,436,577
当期変動額				
減資				—
親会社株主に帰属する 当期純利益				258,292
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	1,122	1,122		1,122
当期変動額合計	1,122	1,122	—	259,414
当期末残高	9,715	9,715	1,000	1,695,991

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△21,222	241,218
減価償却費	154,345	105,409
減損損失	26,631	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△356	△690
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,580	540
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2,098	2,585
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1,568	△349
固定資産除却損	0	1,550
固定資産売却益	△1,143	△1,738
投資有価証券売却益	—	△92,486
受取利息	△216	△1,917
支払利息	13,719	13,920
事業譲渡損益(△は益)	△5,291	—
売上債権の増減額(△は増加)	113,705	△39,479
営業貸付金の増減額(△は増加)	△6,218	△23,756
棚卸資産の増減額(△は増加)	132,547	47,001
仕入債務の増減額(△は減少)	△177,929	△20,376
未払金の増減額(△は減少)	△28,406	△15,984
預り金の増減額(△は減少)	△2,710	560
収納代行預り金の増減額(△は減少)	16,340	45,902
その他	35,580	44,054
小計	240,126	305,964
利息の受取額	213	1,809
利息の支払額	△13,356	△13,824
法人税等の支払額	△26,131	△18,737
営業活動によるキャッシュ・フロー	200,852	275,212
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△41,138	△40,575
有形固定資産の売却による収入	2,184	10
無形固定資産の取得による支出	△37,357	△37,607
投資有価証券の売却による収入	—	95,486
投資事業組合からの分配による収入	7,000	12,000
事業譲渡による収入	28,822	—
その他	9,327	7,372
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,160	36,685

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△356,532	△273,443
社債の発行による収入	—	50,000
社債の償還による支出	—	△5,000
その他	△3,211	△4,793
財務活動によるキャッシュ・フロー	△259,743	△233,236
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△90,051	78,661
現金及び現金同等物の期首残高	1,140,029	1,049,977
現金及び現金同等物の期末残高	1,049,977	1,128,639

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「A-COMS事業」、「玩具販売事業」の2つを報告セグメントとしております。「A-COMS事業」は、ほねつぎチェーン、機材・消耗品販売、アトラ請求サービス、HONEY-STYLE、介護支援などの鍼灸接骨院支援に関する事業を行っております。「玩具販売事業」は玩具・文具等の販売に関する事業を行っております。

なお、当連結会計年度より、事業内容を適正に表示するため、従来「鍼灸接骨院支援事業」としていた報告セグメントの名称を「A-COMS事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響がありません。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	A-COMS事業	玩具販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,448,393	1,786,040	4,234,433	—	4,234,433
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,247	—	9,247	△9,247	—
計	2,457,640	1,786,040	4,243,681	△9,247	4,234,433
セグメント利益又は損失(△)	39,730	△36,486	3,244	2,439	5,683
セグメント資産	2,021,584	1,036,075	3,057,659	1,056,601	4,114,261
その他の項目					
減価償却費	146,836	7,509	154,345	—	154,345
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	78,495	—	78,495	—	78,495

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額2,439千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額1,056,601千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。全社資産は、主に親会社の余剰運用資金(現金及び預金)及び長期投資資金(投資有価証券等)であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	A-COMS事業	玩具販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,357,658	1,569,564	3,927,223	—	3,927,223
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,436	—	15,436	△15,436	—
計	2,373,094	1,569,564	3,942,659	△15,436	3,927,223
セグメント利益又は損失(△)	163,864	△25,047	138,817	1,994	140,812
セグメント資産	2,100,852	870,960	2,971,812	1,155,842	4,127,654
その他の項目					
減価償却費	101,273	4,136	105,409	—	105,409
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	78,183	—	78,183	—	78,183

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額1,994千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額1,155,842千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。全社資産は、主に親会社の余剰運用資金(現金及び預金)及び長期投資資金(投資有価証券等)であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり純資産額	139.83円	165.10円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△3.59円	25.16円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—円	—円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△36,736	258,292
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	△36,736	258,292
普通株式の期中平均株式数(株)	10,223,127	10,266,734
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2024年4月17日取締役会決議による第5回新株予約権 普通株式 1,000,000株	2024年4月17日取締役会決議による第5回新株予約権 普通株式 1,000,000株

(重要な後発事象)

(新株予約権の発行)

当社は、2025年12月19日開催の取締役会において、2026年1月5日を払込期日として第三者割当により発行される第6回新株予約権（以下、「本新株予約権」という。）の発行を決議し、2026年1月5日付で本新株予約権の払込が完了しております。

なお、概要は以下のとおりであります。

本新株予約権の概要

(1) 割当日	2026年1月5日
(2) 新株予約権の総数	50,000個
(3) 発行価額	総額6,000,000円（新株予約権1個につき120円）
(4) 当該発行による潜在株式数	5,000,000株（新株予約権1個につき100株） 上限行使価額はありませぬ。 下限行使価額は102円ですが、下限行使価額においても、潜在株式数は5,000,000株です。
(5) 資金調達額	771,000,000円（差引手取概算額：753,692,000円） （内訳）新株予約権発行による調達額：6,000,000円 新株予約権行使による調達額：765,000,000円 差引手取概算額は、本新株予約権の払込金額の総額及び本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額の合計額を合算した金額から、本新株予約権にかかる発行諸費用の概算額を差し引いた金額となります。また、行使価額が修正又は調整された場合には、調達資金の額は増加又は減少する可能性があります。
(6) 行使価額	当初行使価額 153円 当初行使価額は、2025年12月19日開催の取締役会直前取引日の株式会社東京証券取引所（以下、「東京証券取引所」といいます。）における当社普通株式の普通取引の終値（同日に終値がない場合には、その直前の終値）の90%に相当する金額であります。 また、行使価額は、本新株予約権の割当日の翌日から起算して6ヶ月を経過した日以降に開催される当社取締役会の決議により、当該決議が行われた日の直前取引日の当社普通株式の普通取引の終値の90%に相当する金額に修正することができます。但し、修正後の行使価額が、下限行使価額を下回ることはありません。行使価額の修正が決議された場合、当社は、速やかにその旨を本新株予約権者に通知するものとし、当該通知が行われた日の翌々取引日以降に修正後の行使価額が適用されます。なお、上記に関わらず、直前の行使価額修正から6ヶ月以上経過していない場合には、当社は新たに行使価額修正を行うことはできません。そのため、本新株予約権は、東京証券取引所の定める有価証券上場規程第410条第1項に規定されるMSCB等には該当しません。
(7) 募集又は割当方法	第三者割当の方法により、以下のとおり割り当てます。 マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社 45,000個 クオンタムリープ株式会社 5,000個
(8) 行使期間	2026年1月5日から2028年1月4日